



セナリオハウスオリジナル
国産高品質木質建材
檜ハイブリッド工法



森の恵みと現代の技

国産ヒノキで家を建てる

この国の気候風土に調和した木材(ヒノキ)を使った家づくり。

何十年と時を重ね、森に鍛え育まれた強さとぬくもり。

住もう人をやさしく包み込む味わいが空間ににじみでます。



Photo:セナリオハウス柏の葉展示場

From
a forest to construction

国産建築用材「檜ハイブリッド」の家づくり

- 01 山生まれ森育ちの家
- 02 最新技術でつくるヒノキの家
- 03 「日」の木で建てる日本の風土になじむ家



ヒノキで
つくる家





Photo:鳥取県日南町 日野川の森林



Profile

檜(ヒノキ)の魅力

尊く最高の意味を持つ「日」の木として、古代7世紀頃から日本建築に用いられてきたヒノキ。その特性は高い耐久性、独特の芳香、緻密かつ通直な木理。変化に富む四季のある日本において建築用材として古より重宝され、いつの時代にも人々の傍で暮らしを守り続けてきました。古来から耐久性の高さは折り紙付。社寺仏閣の建築用材のほとんどがヒノキであり、現存する世界最古の木造建造物である

法隆寺にもヒノキが使われています。近年改修の際に表面を削ったところヒノキの香りがしたという逸話もある程長生きする材料です。またヒノキは他の樹種と比べゆっくりと成長していくため伐採できるまでに時間がかかりますが、密な木理は韌性に富み、狂いが少なく建築用材として優秀な性格を持ち合せています。

癒し

ヒノキが晒し出すほのかな香りには癒し効果もあります。ヒノキに含まれる「フィトンチッド」という成分がリラックス効果をもたらし、更に抗菌作用・腐朽菌抑制作用があるのも特徴的です。



日本の風土に合った建築用材

日本には独特な気候(四季)があり、高温多湿な気候とシロアリという家の天敵が存在します。輸入木材の中には日本の気候風土に適さない建築用材もありますが、日本で育ったヒノキはそれに耐えうる性質を兼ね備えています。



カタログをご請求いただくと
郵送でお手元にお届けいたします。



「ヒノキでつくる家」を取りよせる >